（様式2） 実行計画管理シート

事業名	22	京阪本線連続立体交差事業	部・課	都市整備部　連続立体交差推進室

総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち
	施策目標等		4　安全で快適な交通環境が整うまち
	（関連施策目標等）		
	（関連施策目標等）		
	4つの重点的に進める施策との関係		4　人々が交流し、賑わいのあるまちをつくる
総合戦略との関係	基本目標		1　産業の活性化と人々の交流・賑わいの創出によりまちの魅力を高める
	施策目標		3　安全で快適な交通環境が整うまち
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞
	所信表明	○	京阪本線連続立体交差事業の推進
	2016(H28)年度市政運営方針	○	さらなる都市基盤整備の充実として、踏切による交通渋滞や事故を抜本的に解消し、鉄道により分断された市街地の一体化を図る京阪本線連続立体交差事業の計画的な用地取得に向けて、引き続き、民間活力も活用しながら進める。
	2017(H29)年度市政運営方針	○	京阪本線連続立体交差事業については、引き続き、民間活力も活用しながら用地取得を行う。
	2018(H30)年度市政運営方針		

事業概要（目的・内容等）	交通渋滞を緩和するとともに、安全な交通環境整えるため、枚方公園駅付近～香里園駅付近の連続立体交差化を進め、都市交通の円滑化と分断されていた市街地の一体化を図る。 概算総事業費:541億円

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成25年度から連続立体交差課が設置され、同年12月に事業認可を取得し、平成26年度から本格的な用地測量・境界確定・用地取得業務に着手する。 また、役務委託や用地交渉委託等を活用し、効率的な用地取得業務に取り組んでいる。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・事業用地の取得
	実績（評価）	大阪府からの配当額をもって鋭意取り組み、用地面積　3,359.33　㎡を取得した。(総事業用地面積:約29,900㎡) H28年度末における取得総面積　6,220.93㎡　進捗率:約21％
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	

2019(H31)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	
備考		

課題	平成31年度からの鉄道高架工事着手に向けて、計画的に用地取得を進めるための事業費確保が必要である。		
今後の対応	事業主体である大阪府及び鉄道事業者と連携し、引続き、事業費確保に向けた取り組み（要望活動）を積極的に行う。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
京阪本線連続立体交差事業の進捗状況	○		用地取得に着手	用地取得の継続	用地取得の継続				用地買収	―
指標の説明										
（工程管理により把握）京阪本線（寝屋川市・枚方市）連続立体交差事業の進捗状況			H26に用地取得に着手、現在も用地取得を継続							

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値(H31)	単位
指標の説明										

事業費（決算ベース）

単位：千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	1,868,062	979,128	480,663	303,604	0	87,829	16,838
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(H31)年度	0						

整備事業の場合の総事業費 54,131,525 千円 （建設経費 40,492,255 千円 ， 用地費 13,639,270 千円 ）